

## 令和5年度「数学ⅡB応用（3年理系）」シラバス

教科名	数学ⅡB応用（選択授業）	単位数	2
<b>学校到達目標</b> 数学ⅡBの内容について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。			

学 習 の ね ら い	学期	時数	学 習 内 容
整式の乗法・除法及び分数式の四則計算について理解できるようにするとともに、等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。  方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数までに拡張して二次方程式を解くこと及び因数分解を利用して高次方程式を解くことができるようにする。  座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	1 学 期	1 6	オリエンテーション 式と計算
		4 2	複素数と2次方程式の解 高次方程式
		4 3 3	点と直線 円 軌跡と領域
		5 2	三角関数 加法定理
		3 3	指数関数 対数関数
		3 2 3	微分係数と導関数 関数の値の変化 積分法
角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の加法定理について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。  指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。  微分・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。  ベクトルの基本的な概念について理解し、その有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにする。	2 学 期	5 3 3	三角関数 加法定理 指数関数 対数関数 微分係数と導関数 関数の値の変化 積分法
		5 3 8	ベクトルとその演算 ベクトルと平面図形 空間のベクトル
		5 3 2	等差数列と等比数列 いろいろな数列 数学的帰納法
簡単な数列とその和及び漸化式と数学的帰納法について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	3 学 期	5 3 2	等差数列と等比数列 いろいろな数列 数学的帰納法

### 評価の観点・方法

評価は、①定期考査 ②臨時考査 ③平素の学習態度 ④研究物、レポート、宿題などに基づいて総合的に行う。  
考査と平常点の割合は教科で協議の上、決定する。

### 使用教材等

・改訂版 教科書傍用 基本と演習テーマ数学Ⅱ＋B（数研出版）

各学期のテスト 課題 提出物	1 学 期	テスト 定期考査2回
		課題・提出物 授業時配布プリント、週末課題、誤答レポートなど
	2 学 期	テスト 定期考査2回
		課題・提出物 授業時配布プリント、週末課題、誤答レポートなど
	3 学 期	テスト 定期考査1回
		課題・提出物 授業時配布プリント、週末課題、誤答レポートなど